

日時 令和3年7月5日(月) 14:00~15:00

場所 四国がんセンター 研修室①

出席病院: 12 病院 愛媛県薬剤師会

愛媛大学医学部附属病院・愛媛県立中央病院・済生会松山病院・松山赤十字病院 松山市民病院・済生会今治病院・済生会西条病院・住友別子病院・HITO 病院・市立八幡浜総合病院・市立宇和島病院・四国がんセンター

欠席病院: 3 病院 十全総合病院・四国中央病院・愛媛労災病院

司会進行: 四国がんセンター 橋根勝義

書記 : 四国がんセンター 村上直子

## 資料

別紙資料: がん地域連携部会 web 会議資料

1. コロナ禍での診療の連携や現状、また困っていることや対応について
  - 1) 診療
  - 2) 連携訪問・退院調整
  - 3) ワクチン接種の協力
  - 4) 面会
2. 研修に関する現状や開催時の困りごと
  - 1) 院内
  - 2) 院外
3. 地域医療連携ネットワークシステムの進捗状況
4. がん地域連携クリニカルパスの使用推進に向けた取り組み

## 議事内容

配布資料した別紙資料に沿って各医療機関と意見交換を行った。

1. 四国がんセンター

質問はなし。

2. 松山市民病院

Q: 面会回数を週1回から2回に変更しているが、問題はないか。

A: 面会制限を緩めてから問題はない。面会回数が増え患者家族とも安心感が増し喜んでいる。

3. 愛媛大学医学部附属部病院

Q: 患者に PHS の貸出しを行い待合室の分散を図っているとあるが、何台ぐらいの貸出しを行っているのか。

A: 1日の貸出し台数はわからない。→約70台と後日連絡あり。

Q: 退院調整連携カンファレンスは、どの程度開催しているのか。居宅や訪問看護ステーションだけの開催もあるのか。

A: コンスタントに Web 開催は、3回/月程度実施している。居宅や訪問看護師テーションのみだけでも行っているが、ハイブリッド開催の時もある。また、病院に来ていただく場合もある。

4. 愛媛県立中央病院

Q:各ブロックに自動受付システムを導入し、患者の受付時の接触を少なくしているとあるが、月初めの保険書の確認はどうしているのか。

A:月初めの保険書確認は、各ブロックで対面で行っている。

5. 済生会松山病院

Q:Web面会を禁止にしたのはどうしてなのか。

A:面会が禁止から制限に移行しているためだと思われる。

6. 松山赤十字病院

Q:ワクチンのキャンセル後の対応は、具体的にリストアップをしているのか。

A:リストにはあると思うが、詳細について担当部署には確認していない。

7. 済生会今治病院

Q:ワクチン接種の問い合わせは、どのような内容か。

A:ワクチン可否の問い合わせが多いため、医師に確認した内容は、翌日に医事課職員が患者に電話で伝えている。

8. 住友別子病院

Q:コロナ患者の転院には、時間がかかるようですね。

A:コロナ陽性患者の重点医療機関での受け入れまでに時間がかかる。また、感染リスクのないコロナ患者の逆紹介においても、医師は重点医療機関で見て欲しい気持ちがあると思われる。

9. 済生会西条病院

質問はなし。

10. 市立宇和島病院

Q:PCR検査を全入院患者に行っていた時期があるが、大変だったのではないかと。

A:院内クラスターの発生もあり、検査をせざるを得ない状況であり、検査科にも頑張ってもらった。

Q:えひめコロナお知らせネットについて

A:研修主催時は、愛媛県のホームページに掲載されている、「LINEを活用した愛媛独自の接触確認システム」の利用を検討

11. 市立八幡浜総合病院

質問はなし。

12. HITO 病院

質問はなし。

※別紙資料に HITO 病院の内容を追加した。

## まとめ

愛媛県の感染状況は現在収まっているため、面会制限を緩めた施設もあるが、面会制限の基準を作成した施設はまだないようである。制限は解除したいがなかなか踏み切れないのが現状である。

リモートの活用については、上手く行っている施設からノウハウを教えて頂き、またコロナが終息しても地理的な場面を考慮すると幅広く活用できると思われる。

その他

3年前の地域連携部会での地域連携パスについてのアンケート結果が、「癌と化学療法」に論文として掲載されたので後日送付する。

次回開催予定：未定